

1. 基礎知識

基礎栄養 ～動物の健康を守るための要～

はじめに

愛玩動物看護師にとって、動物の基礎栄養に関する知識は、どうぶつ予防医療推進において不可欠な要素です。

近年、獣医療は分子レベルの網羅的解析*が可能になることで「集団の医療」から「個の医療」、「病気の治療」から「健康の維持・増進」へと認識の仕方・考えかたの大きな変革期（パラダイムシフト）にあるといえます。

*分析対象を絞らずになるべく多くの代謝物を測定して解析を行う手法

この変化において、栄養管理は重要な役割を担い、どうぶつ予防医療の中核を担う存在となっています。

従来の獣医療では、発症後の治療に重点が置かれていました。しかし近年では、犬や猫達の寿命が延び慢性疾患が増加していることから、病気の予防が重要視されるようになってきました。

適切な栄養管理は、以下の点において動物の健康維持・増進に貢献します。

※実際の内容と異なる場合があります

適切な栄養管理によって実現できる動物の健康維持・増進（具体例）

- 免疫力の向上
- 消化器系の健康維持
- 皮膚・被毛の健康維持
- 肥満予防
- 慢性疾患の予防・管理
- 治療効果の向上 など



これらの相互関係の理解において、動物の基礎栄養に関するより詳しい知識が求められます。改めて「基礎栄養」を復習し、飼い主様からの信頼と満足につながる情報をご提供できれば幸いです。

執筆者



Tsuchida Masahisa

土田 雅久

獣医師 / ペット栄養管理士

一般社団法人どうぶつ予防医療協会 理事
株式会社 PNCS 代表取締役
ペット栄養学会 所属

